

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)
日本共産党西宮市会議員団 (2013.10.27 NO.616)
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

アサヒ跡地に、病院・中央体育館・防災公園等

市が跡地活用でアサヒと合意



津門大塚町のアサヒビール工場跡地の活用について、市はアサヒグループホールディングとこのほど合意しました。

左記のゾーニングの通り市は、市立中央病院・中央体育館・共用駐車場・西宮消防署・多目的防災公園の公共施設を整備するとし、その他の用地は、民間開発事業者による土地利用が図られることになります。

道路は民間事業者が整備

民間事業者が開発するゾーンについては、大型ショッピングセンターやマンション開発は誘導しないよう、一定の規制を促すこととなります。

茶色部分の道路整備については、当初、市が用地を購入し整備する方針でした。日本共産党市議員団は名神沿いの南北道路は「不要不急」だと主張していましたが、今回、民間開発事業者が整備し、西宮市に無償譲渡されることになりました。

来年3月議会には、68億8000万円の用地購入費の議決が必要となります。日本共産党西宮市会議員団は、アサヒ跡地活用については、老朽化した公共施設の移転新築は必要という立場で、今後の論議を進めていきます。

西宮市は、林田町にある市立中央病院を、アサヒ跡地に新たな病院（名称変更予定）として再生する「新病院基本計画」をまとめました。

新病院は内科・外科・整形外科・小児科・皮膚科・泌尿器科・放射線科・麻酔科の8診療科を標榜するとし、病棟は小児病棟や緩和ケア病棟を含む7病棟・257床で構成されます。

日本共産党西宮市会議員団は、新病院建設について、市直営での運営を基本に、赤字体質から脱却した経営改善を進めることを前提に、アサヒ跡地への移転新築は必要との立場で審議してきました。

特に救急医療の充実は、市民からも大きな期待があり、新病院建設に合わせ応急診療所（現在、池田町で休日・夜間に診療）は、「医師会と協議し新病院に移転併設を」など提案しています。

新病院の診療の特色

- ・救急医療の強化・・・小児2次救急を週3日、さらに増やす
内科・外科2次救急対応日（夜間）増
- ・悪性腫瘍への対応・・・手術・外来化学療法などの実施
- ・小児病棟の設置・・・小児救急、小児医療の充実
- ・緩和ケア病棟の設置
- ・ハイケアユニットの設置・・・重症患者に適した対応
- ・広域的呼吸器感染症への対応
- ・大規模災害に対応するための診療機能整備

「西宮新病院基本計画」策定



「西宮新病院基本計画」